

プラスチック製容器包装および  
プラスチック使用製品廃棄物の  
再生処理事業者における  
**発煙発火トラブル**について

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

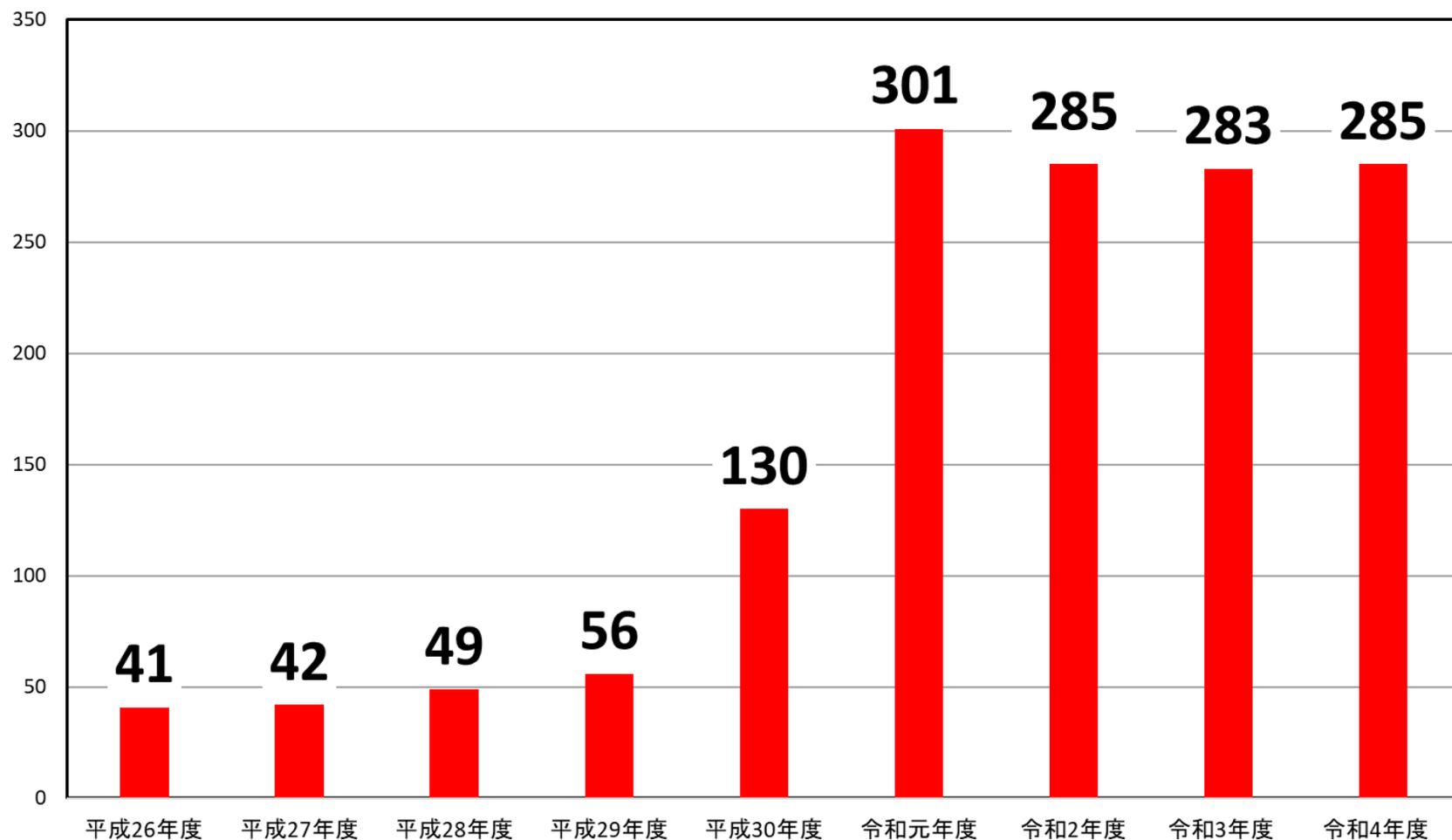
2023.8.3

# V T R 視聴

6月～7月に、繰り返し放送された

ニュース V T R をご覧ください。

プラスチック製容器包装再生処理事業者での  
発煙・発火トラブル件数の推移  
【当協会契約の再生処理事業者35社調べ】



平成29年以降に2  
倍3倍と急激な増  
加となった発煙発  
火トラブルは280  
件台の高止まり状  
態です。数々の取  
組みも、減少傾向  
に至っていません。

## 発煙・発火原因物の 混入割合

### 件数

令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度  
6月末

\* 「発煙発火トラブル」の総件数は280件余りで横ばい。

\* 「2) 加熱式たばこ」のみが、増加傾向（使用限界期間の特性と見ている）。

\* 「3) モバイルバッテリー」は、PSEマーク表示義務化以降に減少した。

\* 「1) リチウムイオン電池等」は、燃焼により表面が焼失し、製品特定ができない（Libだとはわかる）品群である。

\* 「7) 特定できず」は、更に燃焼が激しく電池部分の特定も困難である場合の品群である。

発煙・発火原因物の 混入割合	件数				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 6月末
1) リチウムイオン電池等の充電式電池	49.8%	48.8%	45.9%	46.3%	43.5%
2) 加熱式タバコ	19.6%	23.5%	25.8%	29.8%	21.7%
3) モバイルバッテリー	8.0%	4.9%	5.3%	2.5%	2.2%
4) 乾電池	2.3%	1.1%	1.1%	0.4%	0.0%
5) ライター	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
6) その他	0.0%	0.0%	1.4%	1.1%	0.0%
7) 発火原因特定出来ず	19.6%	21.4%	20.5%	20.0%	32.6%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

# すべての立場のステークホルダーが連携すべき社会問題

- ⇒ 国（法律関連など）
- ⇒ 製造者（メーカーなど）
- ⇒ 販売者（スーパー、コンビニなど）
- ⇒ 生活者（分別排出など）
- ⇒ 市区町村（自治体業務としての一般廃棄物行政など）
- ⇒ 運搬車（パッカー車など）
- ⇒ 容リ協会（市区町村、管理組合、再生処理事業者など）
- ⇒ 再生処理事業者（検知、選別除去、消化など）
- ⇒ 産廃処理事業者（検知、選別除去、消化など）
- ⇒ . . .